(別紙様式)

令和6年度学校評価の実施状況等調査

学校名	沖縄県立北中城高等学校
記載者名	教頭 金城 昭人

1 自己評価を実施した人数

	校長	教頭	事務長	教諭	事務	その他	計
実施人数	1	1	1	39	2	0	44

※その他 ()

2 学校関係者評価を実施した人数

	学校評議員	PTA役員	その他				計
実施人数	3	0	0				3

※その他 ()

3 外部アンケート等を実施した人数

	保護者	生徒	その他				計
実施人数	251	218	0				469

※その他 ()

4 学校評価結果の公表方法等(該当項目に○、複数回答可)

自己評価	☒ ①ホームページ	☐ ②学校便り	☐ ③保護者への説明会	☒ ④その他(PTA総会)
学校関係者評価	☒ ①ホームページ	☐ ②学校便り	☐ ③保護者への説明会	☒ ④その他(学校評議員会)

5 令和5年度の学校評価を踏まえ、令和6年度改善した点(いじめ問題に関すること等)

①部活動生は、勉強と部活の両立が多少改善されている。
②いじめアンケートを行い、委員会や学年会を中心に職員間の情報共有が図られた。
③ゴミの分別活動に努め、清掃指導等の校内美化の徹底が図られた。
④防災教育と防災訓練により、生徒自身の安全管理に役立っている。
⑤スクリーンや横断幕・懸垂幕等を活用し、学校の教育活動や情報を、地域や保護者へ発信した。

6 令和6年度の学校評価で明らかになった課題

①家庭学習が習慣化されていない。
②個別指導や興味・関心・意欲を高める授業の工夫が必要。
③家庭と連携した服装容疑等の指導の徹底が必要。
④教職員の個人の裁量(ゆとり)ある時間の確保が必要。
⑤保護者をPTA活動へ積極的に参加させる取り組みが必要。

7 令和6年度の学校評価を活かした令和7年度の改善点

①生徒の基本的な生活習慣の確立と、家庭学習の定着に向けた取り組みを強化する。
②興味関心を引き出す授業改善を図り、ICTを活用した授業改善に努める。
③いじめや生徒指導に関する情報を保護者や生徒へ周知するよう発信する。
④担任や教科が生徒の悩みや意見が聞けるように、生徒と向き合う時間を確保する。
⑤スクリーンや学校HPを通して学校行事やPTA活動の情報を発信し多くの保護者を取り組む。